

経営説明会

2024年度

愛媛銀行は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



第1章

2023年度（2024年3月期）決算概要 …… P03

第2章

第17次中期経営計画振り返り …… P13

第3章

第18次中期経営計画の概要 …… P16

第4章

地方創生への取組み …… P22

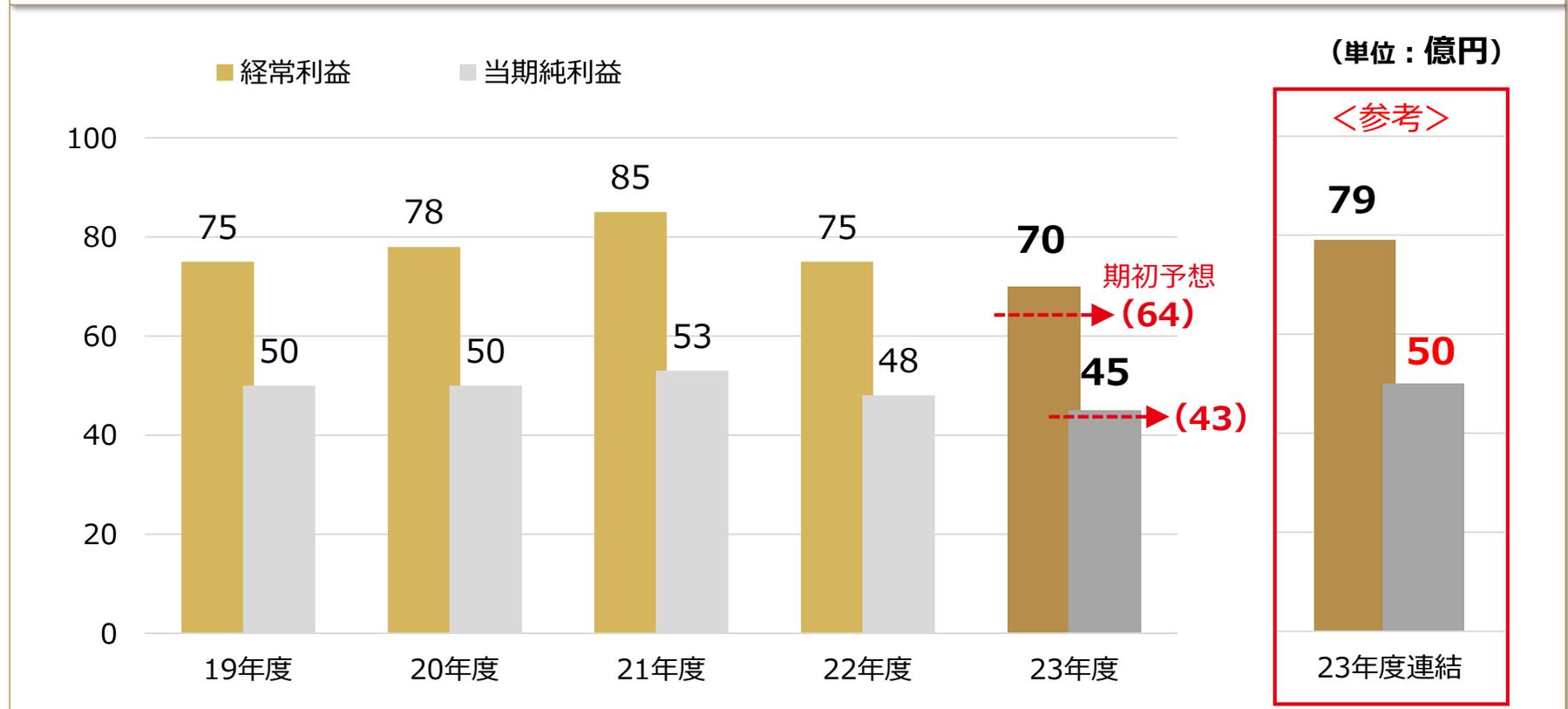
第1章

2023年度（2024年3月期）決算概要

利益の状況

- 経常利益、当期純利益ともに、当初公表した利益予想を超える水準を確保
- 連結決算では、**10期連続で当期純利益50億円を確保**

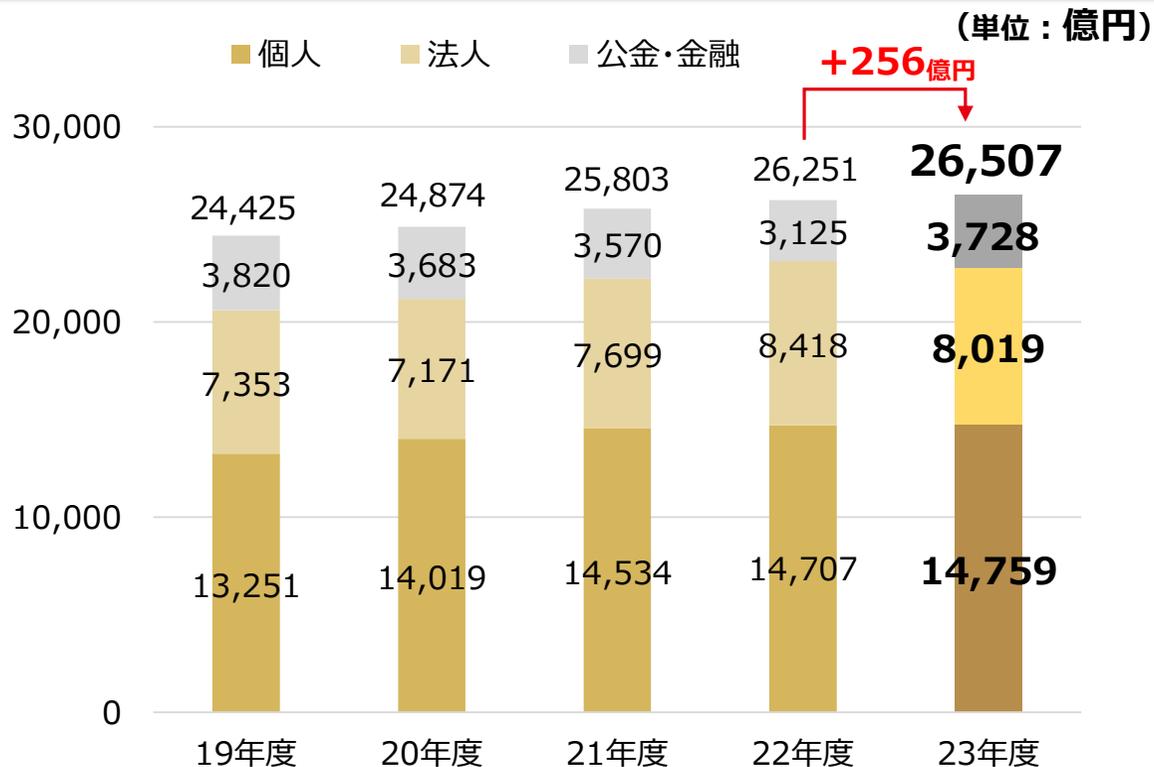
経常利益・当期純利益の推移



預金等の状況

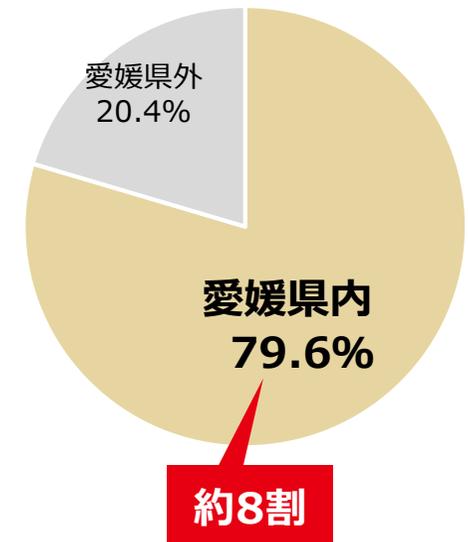
- 公金・金融を中心に増加し、前年比256億円の増加
- 愛媛県内から約8割を調達

主体別 預金等（末残）の推移



地域別 預金等割合

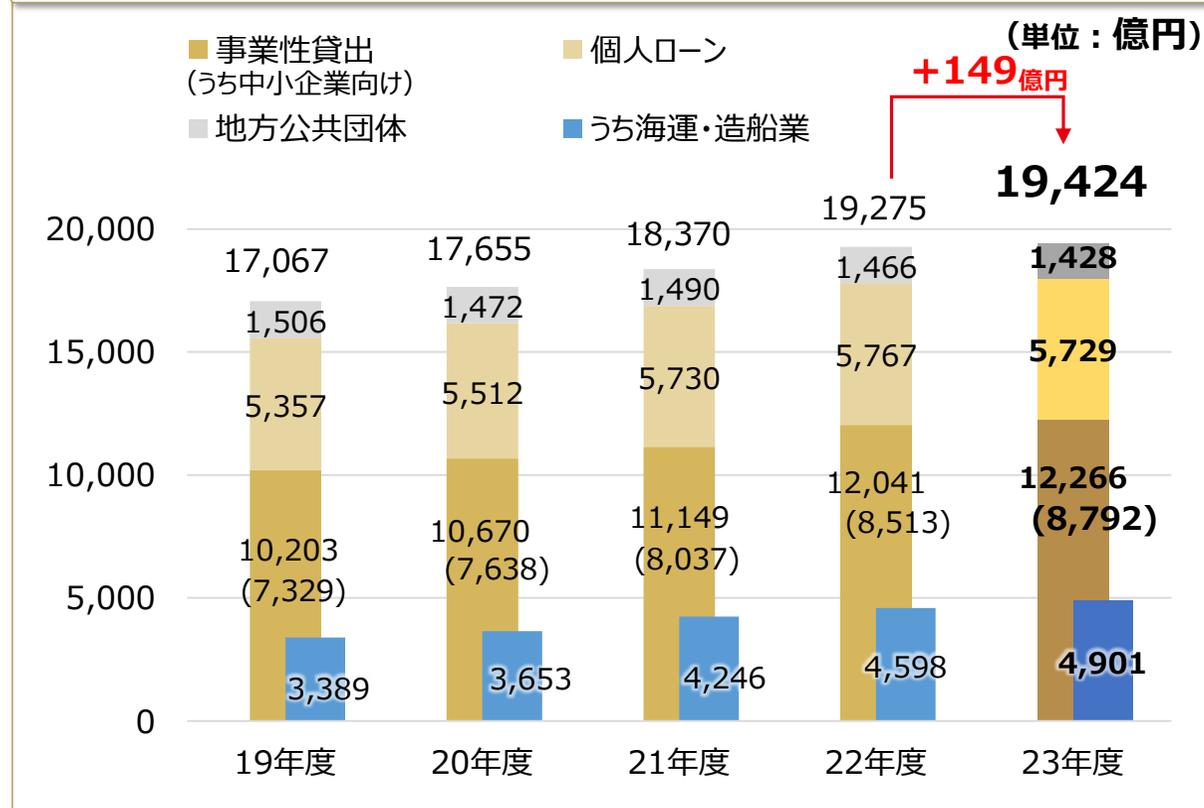
※2024年3月末時点



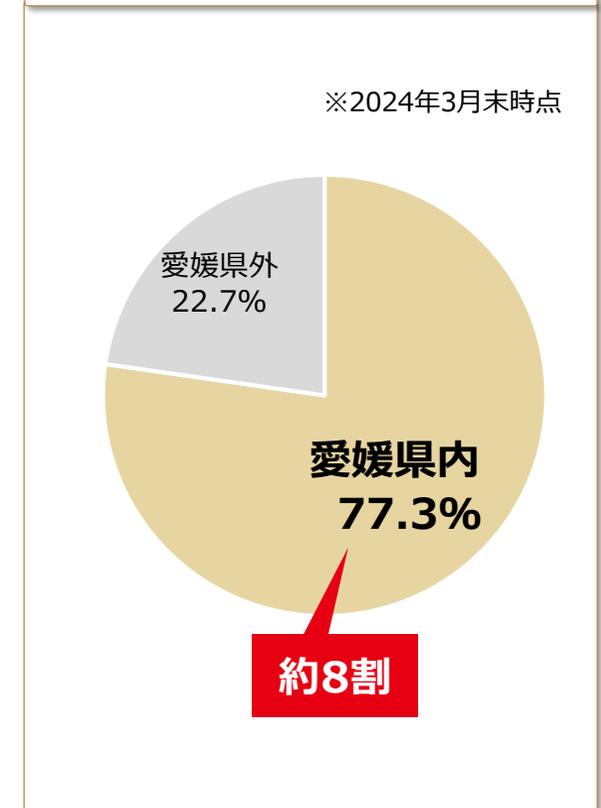
貸出金の状況

- 貸出金（末残）は、中小企業向け貸出が増加し、前年比149億円の増加
- 愛媛県内への貸出が約8割を占める

主体別 貸出金（末残）の推移



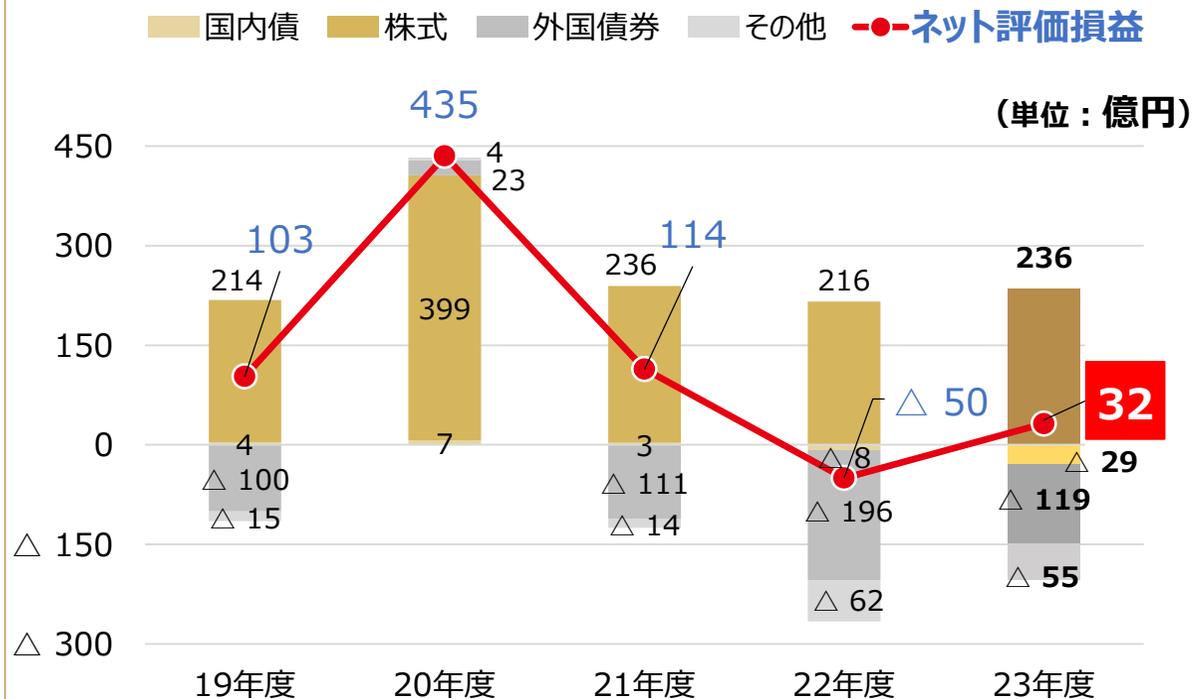
地域別 貸出金割合



有価証券の状況

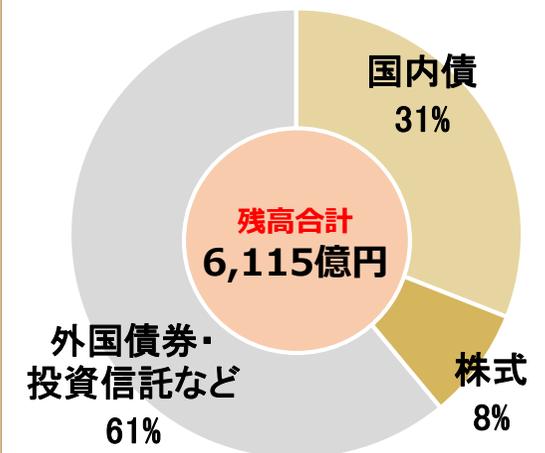
- 有価証券の評価損益は、プラス32億円
- ポートフォリオを入れ替えながら約6,100億円規模で運用

有価証券評価損益の推移（その他有価証券）



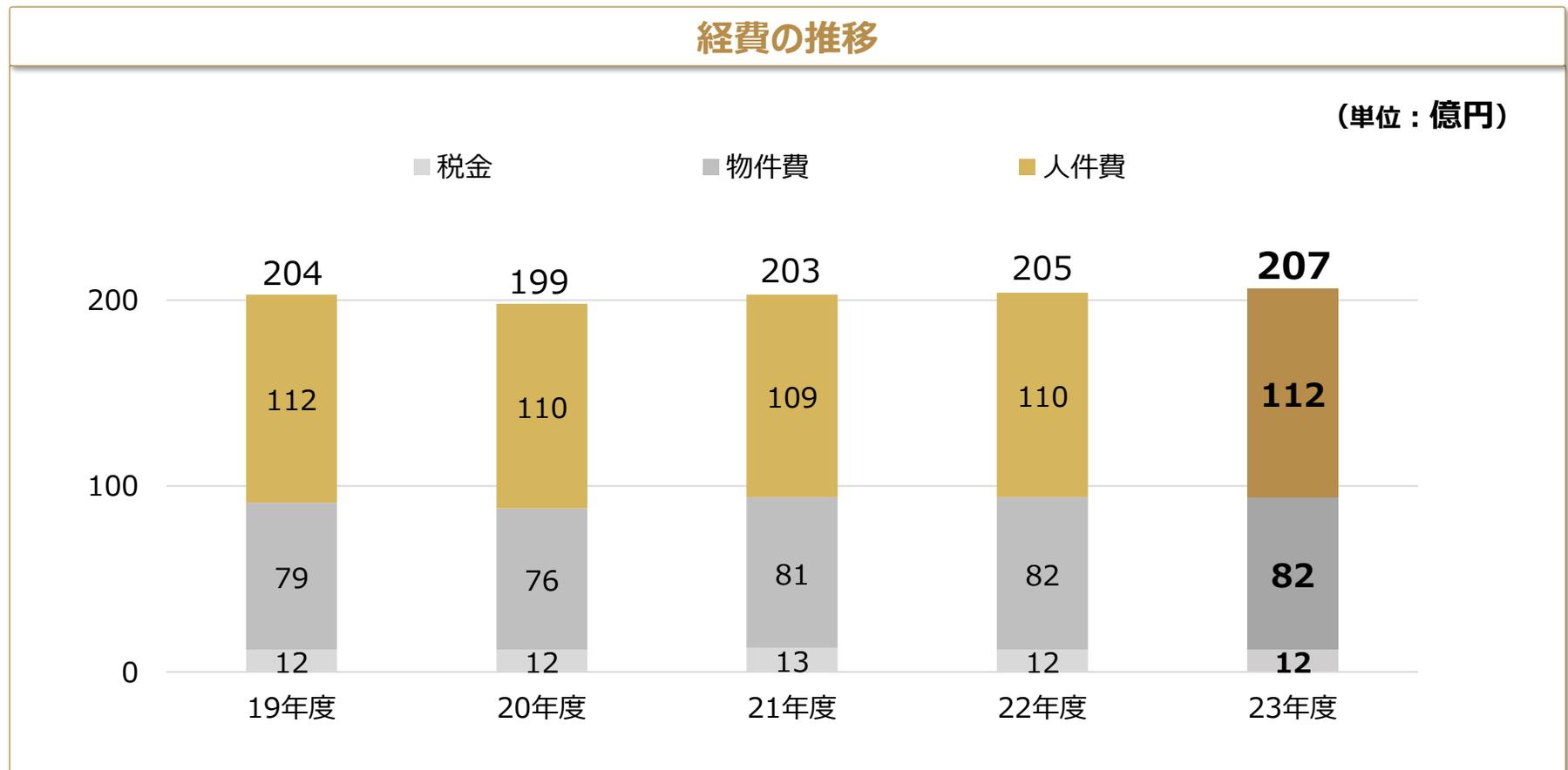
※組合出資金勘定を除く。

<参考> 23年度有価証券残高



経費の状況

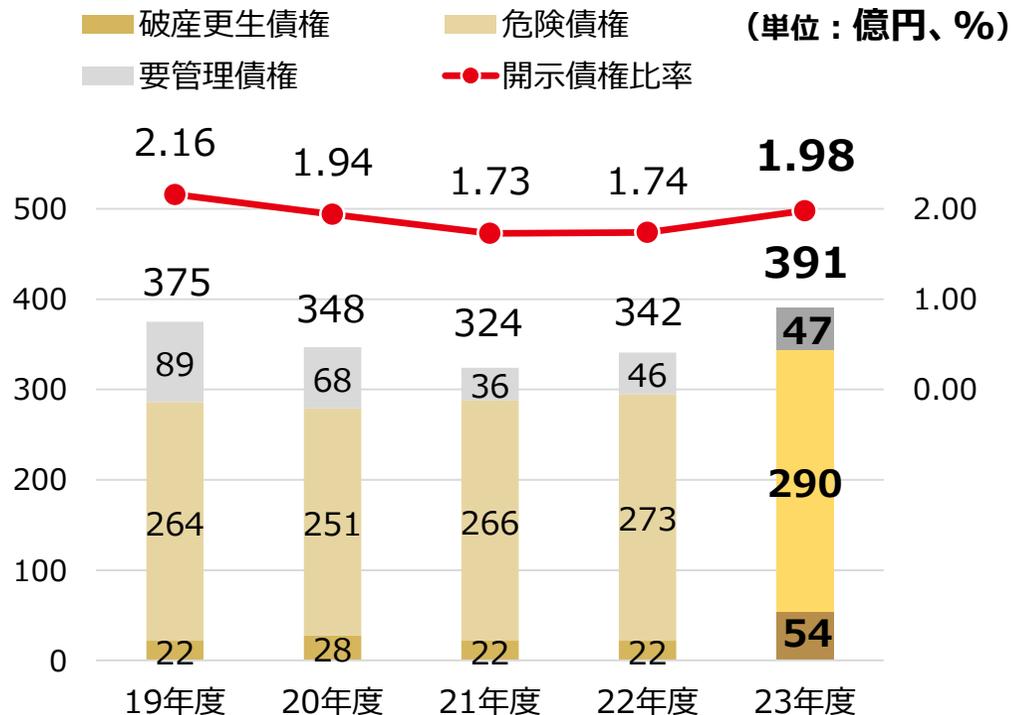
- 経費削減に努めつつ、戦略的な人的・デジタル投資も積極化し、昨年とほぼ同水準で推移



開示債権・信用コストの状況

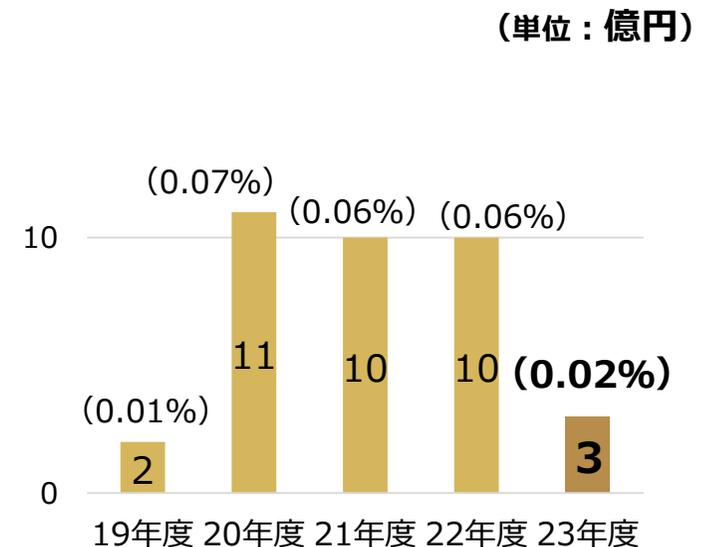
- 事業者の経営改善支援に努めた結果、開示債権比率は1%台を維持
- 信用コストは、低位で安定推移（信用コスト比率0.02%）

開示債権の推移



※開示債権の残高については、単位未満を四捨五入して表示している。

信用コストの推移

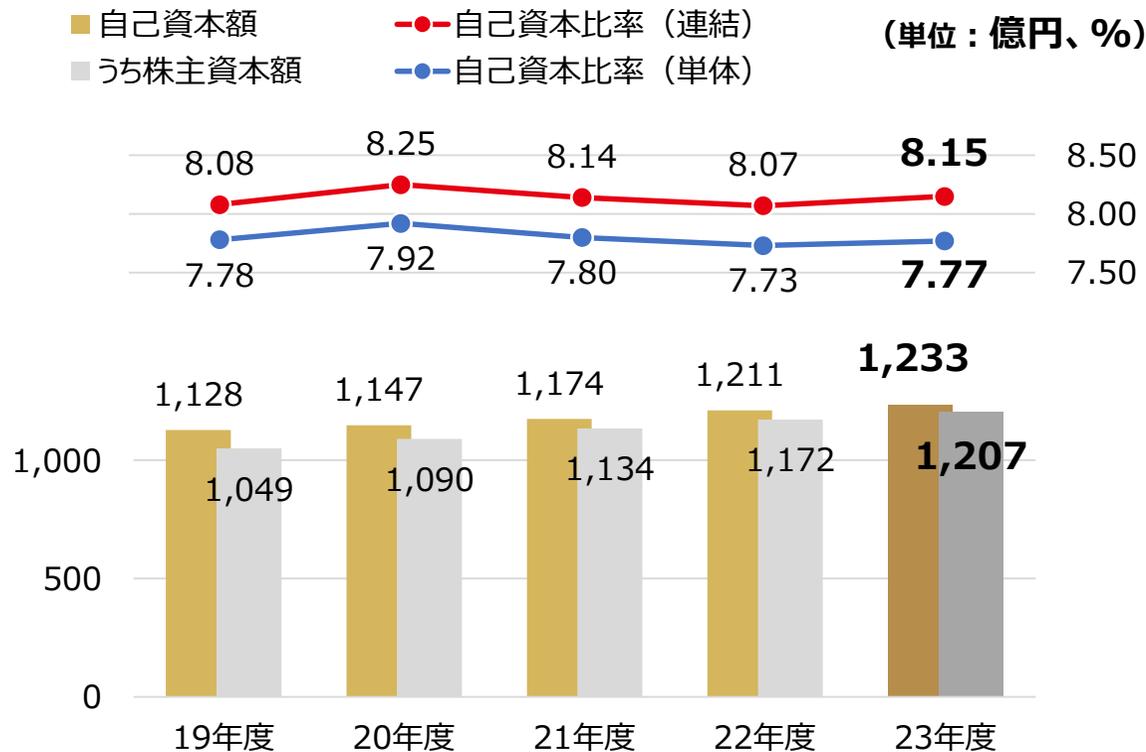


※カッコ内は信用コスト比率（信用コスト／貸出金平残）

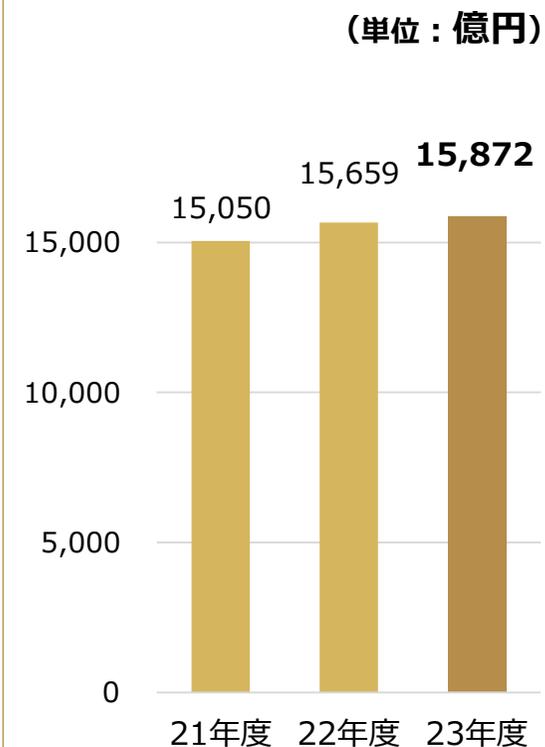
自己資本の状況

- 自己資本額は安定した利益計上により順調に増加
- 積極的な貸出を背景にリスクアセットが増加したものの、自己資本比率は上昇

自己資本額・自己資本比率の推移

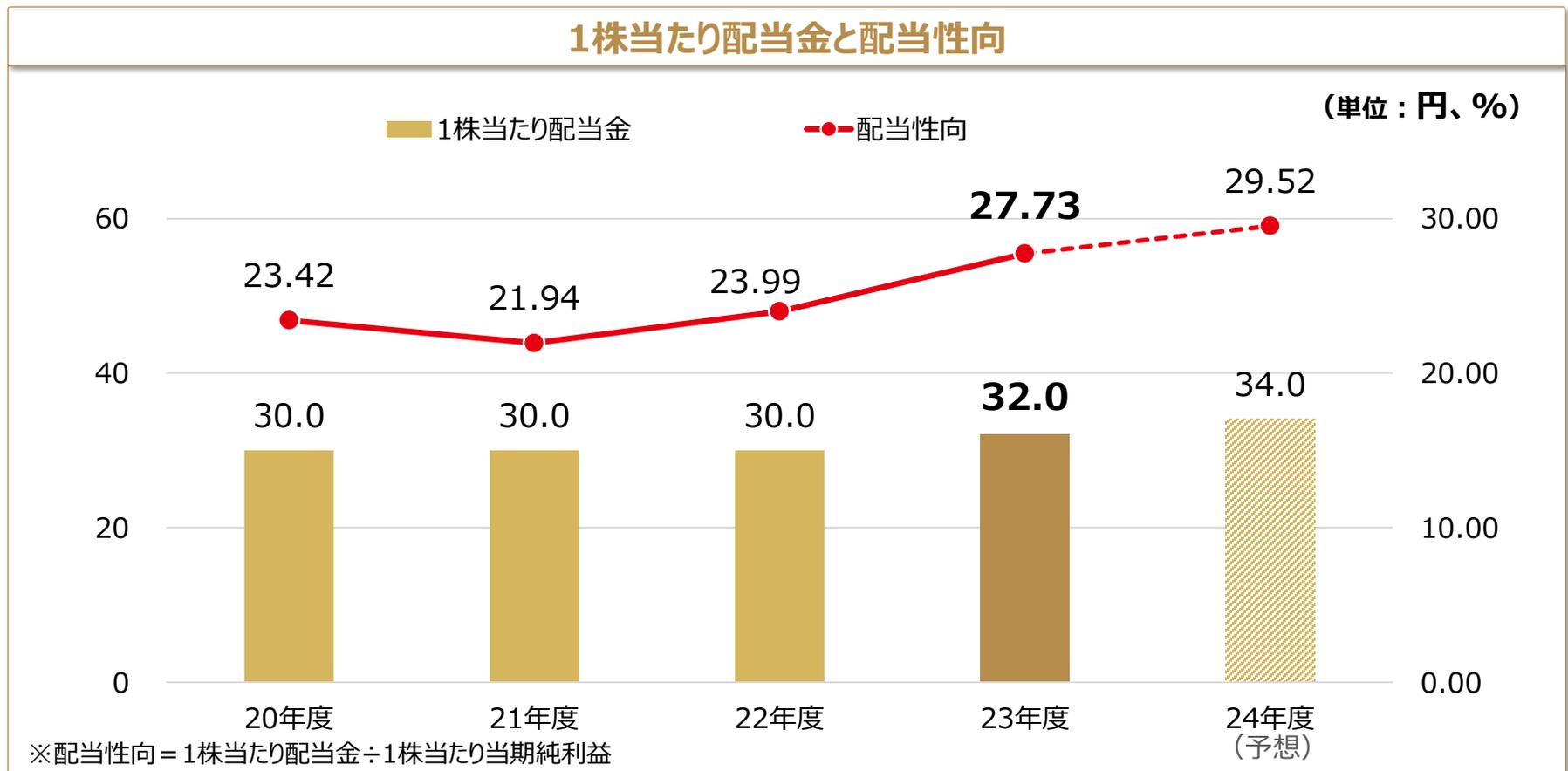


リスクアセットの推移



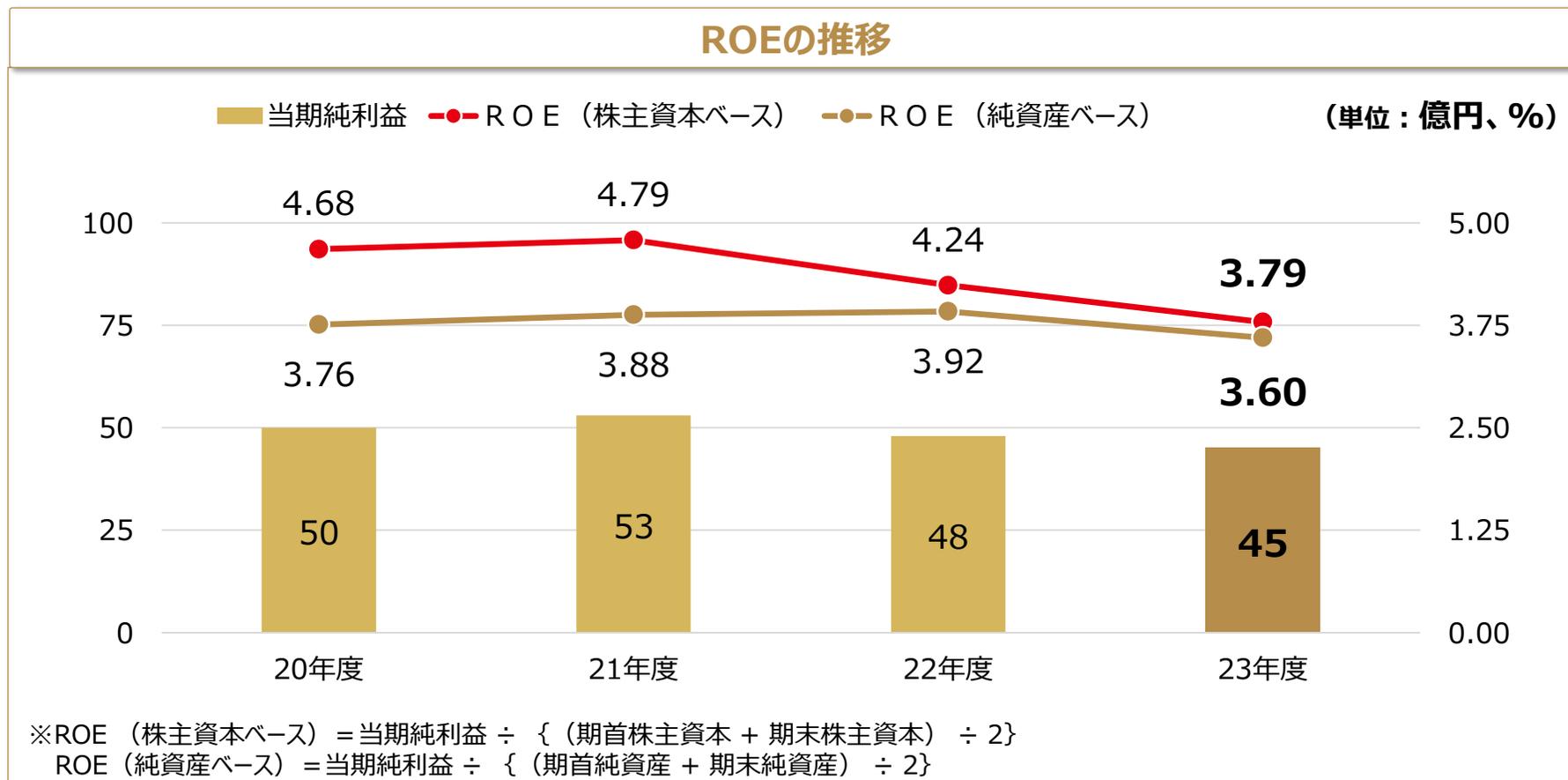
株主還元の様況

- 2024年3月期の期末配当を増配 2024年度は通期で34円の配当予想
- 配当性向 30%以上（単体）を目指す



ROEの状況

■ 資本コストを意識した上で、各種取組みを通じ純利益増加を図り、ROEの向上を目指す



第2章

第17次中期経営計画振り返り

第17次中期経営計画の概要

名称・
テーマ

第17次中期経営計画（2021年度～2023年度）
変革への挑戦 2nd stage ～地域再起動のプラットフォームへ～

基本
方針

「金融プラス1戦略」
の推進

効率経営
の実践

強固な経営基盤
の確立

個別
戦略

- 金融プラス1戦略
- コンサルティング戦略
- ESG・SDGs戦略
- 人財戦略

- デジタル戦略
- 生産性向上戦略
- 市場戦略
- 経営管理態勢強化

主要計数目標と実績(単体)

		2024年3月期 中計当初計画	2024年3月期 実績	
収益性	当期純利益	50億円以上	45億円	厳しい経営環境のなか計画未達となったが、金融プラス1戦略による収益源多様化や、生産性向上に向けた施策等、第18次中期経営計画につながるさまざまな取組みを行った。
	コア業務粗利益	282億円以上	273億円	
	OHR ※1	73%未満	76.0%	
成長性	総預金残高	25,000億円	26,507億円	愛媛県内の旺盛な資金需要等を背景に、計画を上回る預貸金残高を達成した。
	貸出金残高	18,500億円	19,424億円	
健全性	自己資本比率 ※2	8%以上	7.77%	自己資本額が順調に増加する一方、地域での積極的なリスクテイクにより、自己資本比率は連結8%の水準を維持した。
	開示債権比率 ※3	1%台	1.98%	

※1 OHR：営業経費 ÷ コア業務粗利益

※2 自己資本比率：自己資本額 ÷ リスクアセット

※3 開示債権比率：開示債権残高 ÷ (貸出債権残高 + 保証等債権残高)

第3章

第18次中期経営計画の概要

取り巻く経営環境

外部環境

金利上昇/為替変動

デジタル通貨/デジタル給与

脱炭素/生物多様性

女性活躍

地政学リスク

地域の課題

人口減少/少子高齢化

経済縮小/産業空洞化

交通・生活インフラ縮小

限界集落/社会的孤立

南海トラフ地震

銀行の課題

粘着性預金獲得

役務収益強化

PBR改善

人的資本経営

リスク管理高度化

中期経営計画の位置付け

2033年度に向けて
目指す姿

「お客さまに寄り添い 地域の発展に貢献する」

10年後

2024

2027

2034

<主な重点施策>

金融プラス1強化

システム投資強化

金融プラス1収益化

経費コントロール

役務収益拡大

ローコストオペレーション

2021-2023年度

第17次中期経営計画

【2023年度実績】

当期純利益	45億円
ROE	3.6%
OHR	76.0%

2024-2026年度

第18次中期経営計画

【2026年度目標】

当期純利益	60億円以上
ROE	4%程度
OHR	60%台

【2033年度目標】

当期純利益	70億円以上
ROE	5%程度
OHR	60%台

中期経営計画のアウトライン

計画名称/計画期間

第18次中期経営計画「変革への挑戦 3rd stage」
2024年4月～2027年3月（3年間）

経営理念

- 1.ふるさとの発展に役立つ銀行
- 2.たくましく発展する銀行
- 3.働きがいのある銀行

基本方針
・
重点項目

<基本方針>

1.「金融プラス1」収益力の強化

2.強固な経営基盤の確立

3.サステナビリティ経営の実践

<重点項目>

- ①法個人コンサルティング
- ②グループ総合力
- ③生産性向上（DX）
- ④ガバナンス
- ⑤地域共創
- ⑥人的資本経営

目指す姿

お客さまに寄り添い 地域の発展に貢献する

法個人コンサルティング(法人戦略)

事業者支援強化

人的資本経営

戦略的 personnel 配置

業務削減・効率化

店舗人員体制再構築

専門人材
増員・育成

コンサル
ティング
人材

シップ
ファイナンス
人材

デジタル
人材

サステナブル
人材

配置先

本部専門部署

本部専門部署
営業店海運店舗

本部専門部署
全営業店

創業期

成長期

成熟期

変革期

人材派遣・両手型人材紹介

経営改善支援

販路拡大・ビジネスマッチング

M & A・事業承継

デジタル化支援・サステナビリティ経営支援

企業
価値
向上

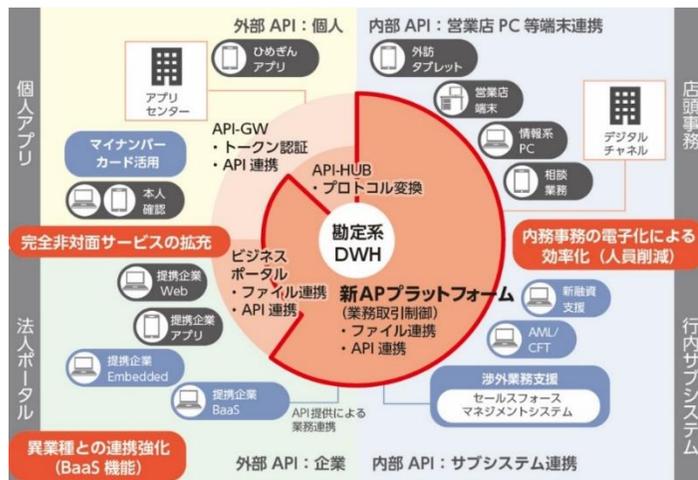
生産性向上(DX)

APプラットフォームによる効率化

将来の変化に柔軟に対応できる「新APプラットフォーム」を構築

自営の強みを生かした「内製化」でデジタル化を促進

当行システム概念図 ▶



2023年
2月



「DX認定事業者」
認定取得



2024年
1月

勘定系システムは
メインフレームで
更改完了

2024年
7月



営業店事務を
プラットフォーム上へ
順次シフト開始

2025年
1月

融資実行の
自動連携

オペレス
伝票レスを
順次実現

2028年



勘定系端末機を
営業店から撤去

目指す将来像

お客さまとの接点を増やし
「寄り添う時間」
を最大化する

第4章

地方創生の取組み

西瀬戸パートナーシップ協定

～山口フィナンシャルグループ～

2020年1月の協定締結以降、
提携効果の累計は**1,100億円超**に

※両社合算



- 2024年3月 2回目となる
「海事産業交流会2024」を共同開催



現在の連携分野

- 法人分野
- シップファイナンス分野
- 地域振興 など



(株)フレンドシップえひめ

地域商社の業容は順調に拡大 自治体からは地域の若者プロジェクトチームの運営を受託

地域商社「(株)フレンドシップえひめ」

22_Ehime
BY FRIENDSHIP EHIME

- ・提携企業数 **60社超**
- ・会員数 **8,000名以上** (いずれも2024年3月末時点)
- ・県内自治体等から業務受託し、公民連携による地域活性化に貢献



LANTANA FOOD SERVICE
愛媛県産ブラッドオレンジのチ
ーズケーキとラムレーズンサン
ドセット
¥5,500(税込)



内子ワイナリー
内子夢ワイン2本セット (山ぶ
どう赤・ロザリオ白 各
720ml)
¥8,520(税込)



青木蒲鉾店
えびちくわバラエティセット
¥4,500(税込)



古新
しゃぶしゃぶ専用ポン酢『ぼん
のこ』5本セット
¥5,500(税込)



ブランド
りょう花 鶏塩つけ麺&特製餃
子セット (冷凍)
¥5,500(税込)



遠藤窯
リムプレート ヒズミ 5.5寸
の(ラビス)
¥3,850(税込)



水口造酒
道後ビール・瀬戸内バルセット
¥5,500(税込)



木村屋精肉店
22_Ehimeオリジナル 木村屋し
ゃぶしゃぶ
¥9,900(税込)



マツワカとは…
MATSUWAKA! PRODUCE!

「ずっと松山に住みたい」

「県外の人にも松山をおすすめしたい」と思ってもらえる
まちづくりに向けて活動する若者のプロジェクトチーム



松山市



運営
委託



日本航空(株)との連携

2023年6月に日本航空(株)と「地方創生の推進に係る包括連携協定」を締結し、様々な取組みを共同実施

●協定締結式

左：当行 西川頭取
右：日本航空株式会社
常務執行役員
宮坂西日本支社長



●DEIセミナー開催

- ・ Diversity (多様性)
- ・ Equity (公正性)
- ・ Inclusion (包括性)

についての理解を深め、多様な人材が活躍できる
職場環境の創造を目的としたセミナー



2023年
6月

9月

12月

2024年
5月

- 八幡浜港で朝獲れた鮮魚を空輸しその日のうちに大阪の飲食店で提供する**実証実験**



- 伊丹空港「第12回ITAMI空の市」
愛媛県企業4社を紹介
県産品7品を販売し、
愛媛の魅力を発信



(株)クラダシとの協働

2022年度から一次産業事業者を支援する取組みで協働
2023年度は新たに宇和島市・松山市で取組みを開始

連携開始
自治体

● 八幡浜市

● 上島町

● 宇和島市

● 松山市

● 伊予市

2022年
12月

2023年
2月 3月

9月

11月

2024年
2月

3月

5月

● 八幡浜市（みかん農家）

● 上島町（レモン農家）

● 八幡浜市（みかん農家※2年目）

● 宇和島市（水産品加工工場）



● 松山市（中島のみかん農家）



提携市町の企業や農家が大学生を受入「クラダシチャレンジ」→課題解決に向けた取組み

令和5年度消費者志向経営優良事例表彰

協働した取組みの愛媛県内での面的な展開及び実施内容の高度化が評価され、特別表彰を受賞



左：自見 内閣府特命担当大臣

中：当行 西川頭取

右：(株)クラダシ 関藤 (当時) 社長

ひめぎん新規事業創出プログラム2024

地域の中核企業の新規事業創出を支援する 約1年間のプログラムが4月にスタート

<今年度参加企業> ※五十音順

- 株式会社 エヌ・ピー・シー (東京都・松山市)
- 株式会社 二神組 (松山市)
- 理研巧業 株式会社 (松山市)
- ワールドパック 株式会社 (今治市)

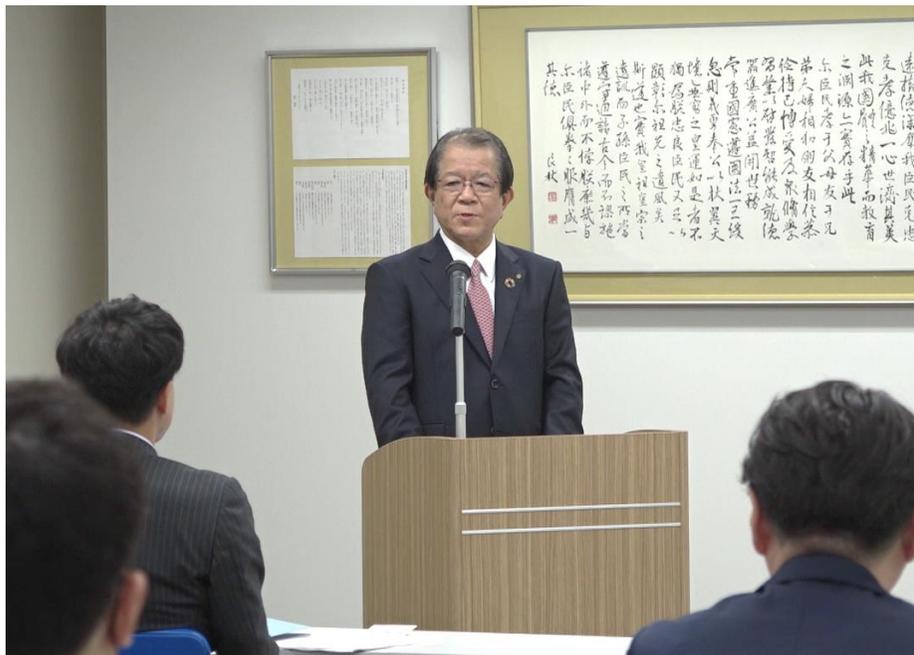


<これまでに参加いただいた企業12社> ※五十音順

- | | | |
|-----------------------|------------------------|--------------------|
| ● アビリティセンター(株) (新居浜市) | ● (株)イナミコーポレーション (西条市) | ● (株)ウイン (松山市) |
| ● 愛媛ダイハツ販売(株) (松山市) | ● 愛媛日産グループ (松山市) | ● カミ商事(株) (四国中央市) |
| ● (学)河原学園 (松山市) | ● (株)三福ホールディングス (松山市) | ● (株)ダイキアクシス (松山市) |
| ● (株)パステムマツザワ (松山市) | ● 星企画(株) (松山市) | ● (株)ヨンキュウ (宇和島市) |

若手経営者塾「有志竟成の会」・合同交流会

若手経営者、後継者の方を対象とした経営者塾を開講
2023年10月には、合同交流会を盛大に開催



▲ 2024年4月 第12期生向け初回講義



▲ 2023年10月 第1期生～11期生の合同交流会

有志竟成の会・ベトナム視察研修

2024年4月には、ベトナム視察研修を実施し、卒業生19名（第8～11期）が参加



▲ エースコック(株)ベトナム工場

◀ 【左上】OCBあおぞらジャパンデスク
（ベトナムの中堅地場銀行のジャパンデスク）

◀ 【左下】JETRO（日本貿易振興機構）ホーチミン事務所

ひめぎんアプリ

18万件を突破！

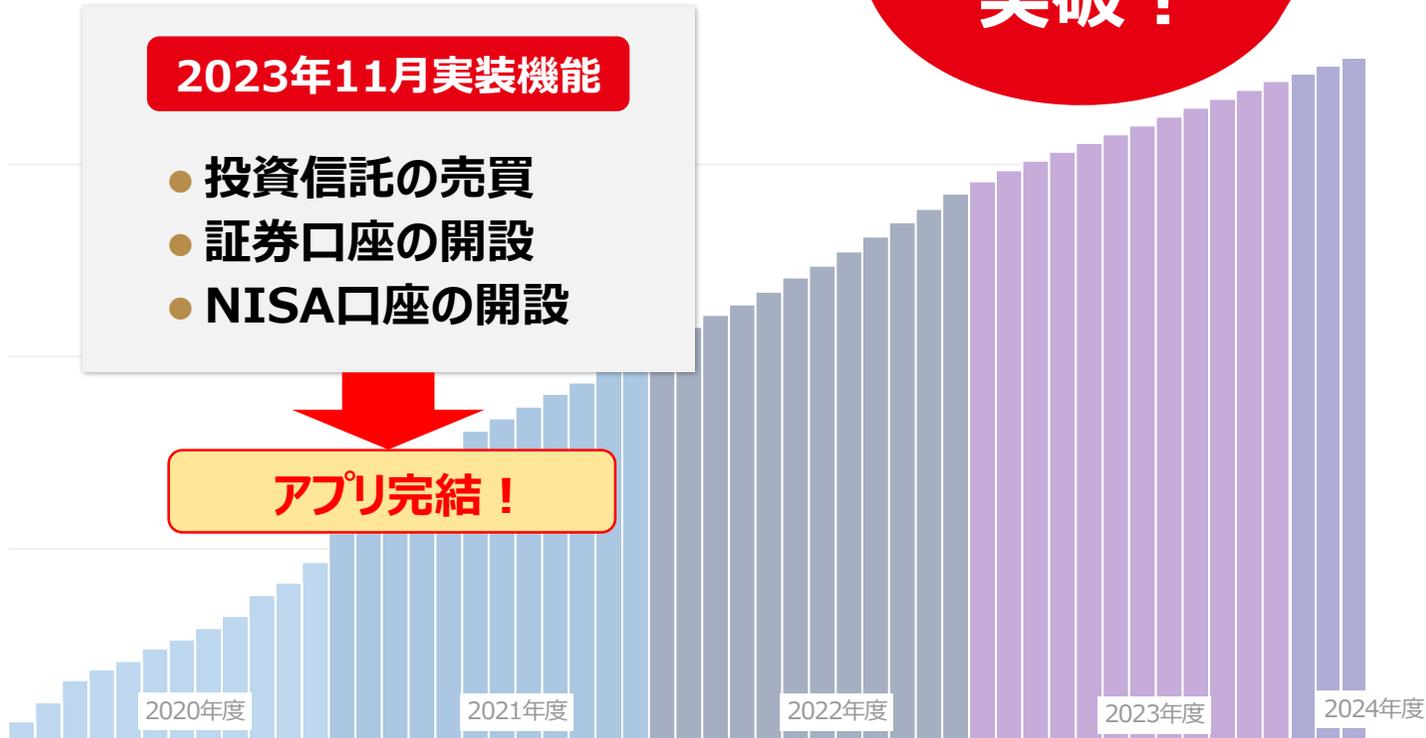
▼スマートフォンアプリ「ひめぎんアプリ」



2023年11月実装機能

- 投資信託の売買
- 証券口座の開設
- NISA口座の開設

アプリ完結！



▲「ひめぎんアプリ」ダウンロード数の推移

A grid of 18 service icons available in the app, arranged in two rows. The first icon is highlighted with a red border and labeled 'ひめぎんアプリのサービス' (Himigin App Services). The services include: account management, deposits, loans, transfers, investments, mobile banking, and more.

愛媛銀行ふるさと振興基金 ～1983年設立～

ふるさとへの発展に貢献されてきた企業、経営者の顕彰、文化活動への助成を実施



● 企業の部

星企画 株式会社
社会福祉法人 三恵会
株式会社 サンリード

● 経営者の部

大西 一次 (大和生コン 株式会社 代表取締役会長)

● 上期助成先

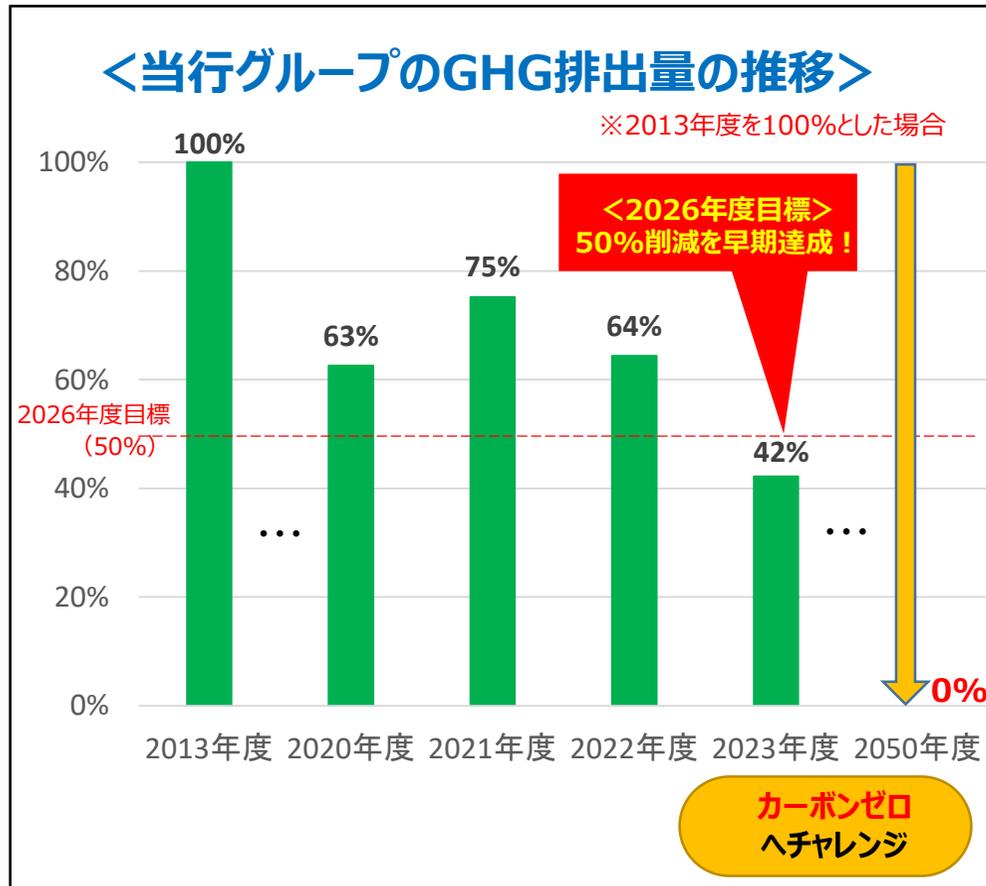
- ・ 伊予源之丞保存会
- ・ 一般社団法人iyoまつり協会
- ・ こども作法クラブ実行委員会
- ・ 中組唐獅子保存会

● 下期助成先

- ・ 松山景雲会
- ・ 虎造節保存会
- ・ 新居浜市勇太鼓保存会
- ・ 佐伯町獅子舞保存会

脱炭素への取組み

GHG排出量削減目標(50%)を前倒しで達成 カーボンゼロなど、更なる目標へチャレンジ



※西条支店 ZEB認証店舗

本資料は、決算の概要や経営方針等のご案内を目的としたもので、
当行が発行する有価証券の投資勧誘あるいは取引の推奨を目的
とするものではありません。

将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化などによって
異なる可能性があることにご留意ください。

お問い合わせ先

愛媛銀行 企画広報部

TEL089-933-1111 FAX089-933-1027

e-mail kouhou@himegin.co.jp

ホームページアドレス <https://www.himegin.co.jp/>